

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	家電量販店（副 店長）	販売量の動き	・梅雨明け以降、気温が高く残暑も続いて、夏物商材や白物商材を中心に売上が上昇している。また、在宅ワーク等が多くなりパソコンの販売も著しく伸びている。
	○	百貨店（営業管 理担当）	来客数の動き	・来客数は月後半にはやや戻りがみられたが、お盆期間に密を避けたことや猛暑による外出自粛傾向が影響し、月全体では前月と同水準となった。
	○	スーパー（店 長）	販売量の動き	・巣籠り消費の恩恵が続いている。
	○	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・前月までは客単価の増加による前年超えだったが、今月は客単価、客数共に前年を超えている。しかし、市内で感染者の報告があると急ブレーキが掛かる。今は一進一退の状態である。
	○	衣料品専門店 （営業責任者）	販売量の動き	・5月は緊急事態宣言でほとんどの店舗が休業を余儀なくされていたため、それに比べればまだ良い方だが、現在は前年比で30%以上下落しているので、非常に厳しい。
	○	乗用車販売業 （営業担当）	販売量の動き	・メーカー、自社共にキャンペーンを実施しており、3か月前に比べれば販売量は良い。これまで新型コロナウイルスの影響で来店を控える方が多かったが、来店客も増えている。
	○	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は前年の水準まで持ち直している。
	○	乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・来客数が増えてきた。
	○	乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・第2四半期に新型車が発売されたこともあり、受注台数が前年を上回る状況である。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により激減した売上も少しずつ上向いてきている。また、行政による消費促進キャンペーンがあったので、来客数が増えた。
	○	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが収束したわけではないが、自粛要請も緩和され客足が戻りつつある。
	○	観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、前年の50%くらいまでは宿泊客が戻った。
	○	旅行代理店（営 業担当）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンが7月下旬から開始され、新型コロナウイルス感染拡大前には至らないものの、徐々にではあるが個人の動きが出てきた。
	○	通信会社（営業 部長）	販売量の動き	・販売数は前年同月と同等まで戻っている。
	○	競輪競馬（マ ネージャー）	来客数の動き	・3か月前は、新型コロナウイルスによる営業自粛や県をまたいだ往来の制限、国民1人1人の感染防止意識の高まりにより経済は大きく冷え込んでいた。しかし、今月には経済活動は徐々に復活しており、客足も増えてきていることから、経済活動による社会生活を履行しながら新型コロナウイルスとうまく付き合っていく状況となっている。
	○	美容室（経営 者）	来客数の動き	・売上低迷を極めていた3か月前と比べると客が動いている。大分、客が新型コロナウイルスへの対応に慣れてきたのだろう。
	○	設計事務所（所 長）	それ以外	・営業活動が活発になってきており、その分、仕事の情報も入ってきている。
	□	商店街（代表 者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて大分良くなっていたが、第2波の影響で8月のお盆はかなり厳しい状況となり、急激に来街客が減少した。また、Go To Travelキャンペーンは奏功せず出控えが起きている。
	□	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・7月中旬以降に再び始まった新型コロナウイルスの全国的な感染拡大傾向が一旦は落ち着き始めたことにより、8月後半から人通りが戻り始めている。ただし、高齢者は引き続き警戒感が強く外出を控えており、全体では消費は弱いと感じる。

□	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・客は熱中症対策で昼間は外出せず、クーラーの効いた室内で過ごしている。
□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、業務用酒類販売を中心にしている当店では今春以降、販売数が激減している状況が続いている。
□	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに加え、猛暑による来客数の減少が売上に非常に影響している。
□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・お盆期間の帰省の自粛などで8月の来客数は前年を下回る数値となっている。ただし、買上点数、売上状況共に前年をかなり上回っている。これは、外食自粛で自宅での食事の回数が増えたことによるものと推察される。
□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・依然として新型コロナウイルスの影響で来客数の前年割れが発生している。また、梅雨明けが遅くなったことも来客数の減少に影響している。
□	コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・イベントやレジャー需要がないと来客数が厳しい店舗がある。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・まだ新型コロナウイルスの影響もあり、来客数の伸びは余り良くないが、通販での注文はある程度入っている。それでも景気は横ばいかやや悪い。
□	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で非常に悪い状況が続いている。ただ、Go To Travelキャンペーン等の施策のお陰で、地元客と近場の帰省客が若干動いてきたので、3か月前と比べるとほぼ変わらない状況である。
□	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、プッシュ営業が積極的に行えていない。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響があり、来客数は前年と比べ非常に低い。また、客の活動が鈍く、夜に至っては非常に悪い。
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は大きく減少している。お盆などには必要商品の購入のために来客があったが、ふだんは外出を控えている客が多いので、来客数も人通りも極端に減っている。
▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・3か月前の5月は、新型コロナウイルスの特需で非常に売上が好調であったが、現在はそうした状況にはない。
▲	家電量販店（店員）	単価の動き	・今後のことを考え、少しでも手元の金を残しておくため、ランクを落とし価格を抑える方が増えた。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・このところ新型コロナウイルスの感染者が毎日発表され、来客数が一層減少している。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・客の人数、乗車率、水揚げ、距離を3か月前と比較すると、全体的にやや悪くなっている。
▲	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で全体的にすごく落ち込んでいる。特に夜は外出する人が非常に少なく、料金が2割増しになる時間帯の売上が落ち込んでいる。昼間もやはり新型コロナウイルスの影響で病院に行く人が減っている。また、お遍路もキャンセルが出ている状態で良くない。
×	商店街（代表者）	それ以外	・駅前再開により誕生し、地元百貨店や中心商店街に再生困難などの打撃を与えた県外資本大型店が撤退する。県外資本の大型店を核にした再開や街づくりは大きな曲がり角に入っている。
×	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、今年はお盆の帰省が非常に少なかった。客はふだん使う物は買ったが、お盆商品は全く売れなかった。
×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月は更に来客数の減少が著しい。お盆の人の動きの悪さ、近隣の夏祭りの中止、高校野球の異例な方法での実施等がかなり影響したものと推察される。

	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・8月も前月と同様に推移すると期待していたが、四国三大祭りに挙げられる当県の夏祭りが中止になり、ホテルや飲食関係だけでなく幅広い業種に深刻な影響を及ぼした。我々衣料業界も8月は非常に厳しい月だった。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(四国)	○	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・民間、公共事業共に、数件は受注できた。
	○	通信業(企画・売上管理)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が本格化する前と比べると悪いが、4～7月と比べると8月は少し回復している。
	○	税理士事務所	取引先の様子	・売上面は新型コロナウイルス発生以前と比べると大分回復している企業が増えている。
	□	農林水産業(職員)	取引先の様子	・園芸品の卸売市場販売は新型コロナウイルスの影響が収まっておらず、相変わらず業務需要の比率が高い品目や花きは単価的に厳しい。一方、家庭消費の多い品目は長梅雨とその後の晴天や高温の影響で出荷できる品が少なく、絶対量不足から高値となっている。果物も絶対量不足で旧盆前をピークに高値が続いている。ただし、日持ちのしない商品が多く、商品ロスや契約価格との逆ざやなど、この高値によりもうけている先は少ないのが実態である。
	□	化学工業(所長)	受注量や販売量の動き	・市販用食品は前年並みに落ち着いてきているが、業務用食品は回復途上で、工業品向けは低調な状況が続いており、トータルでは前年比マイナスとなっている。
	□	鉄鋼業(総務部長)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、受注、販売量共に悪い状態が続いている。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・地域の方に再生可能エネルギー施設の提案を行いたいが、新型コロナウイルスの影響で人が集まらないというジレンマに陥っている。今は仕事が動かない状況である。
	□	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共事業の発注量が国、地方自治体共に前年度よりも微増しているが、企業や業種によって受注量はまだら模様である。新型コロナウイルスによる事業活動への悪影響は少ないものの、事業外の研修、セミナー、レクチャーなどは中止やリモート又は参加自粛していることより、景況感、評価し難く分からない。
	▲	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で外食産業の景気は悪化している。
	▲	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・5月は全国の小売店舗が相当数閉鎖し、特にゴールデンウィークの関係もあり前年比50%であったが、6～7月は自社、小売店共にネット販売が拡大し、前年比ほぼ100%を確保した。しかし、8月は5月同様、売上比率が高い観光地の小売店からの注文が減少している。ネット販売や新規取引先などの売上があったが、ばん回できていない。
	▲	輸送業(営業)	受注量や販売量の動き	・取扱量は前年比で2けた台の落ち込みが続いている。新型コロナウイルスの収束が見通せず、行動制限やイベント自粛等の影響を受け、落ち込んだ個人消費はまだまだ回復基調には至っていない。
	×	木材木製品製造業(営業部長)	受注量や販売量の動き	・受注が3割程度落ち込んでおり、回復の見込みもない。
	×	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあって、海外工場の時短勤務や海外での商談が長引く等の影響が見受けられる。
	×	輸送業(経営者)	それ以外	・先がみえず苦しいが、知恵を出しながら頑張りたい。
	×	輸送業(経理)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、取引先の輸入数量の落ち込みや国内輸送貨物の低迷が続いており、倉庫物流に関しても在庫調整等で入出荷数量が落ち込んでいる。
	×	金融業(副支店長)	取引先の様子	・6月頃、一旦持ち直しかけたが、新型コロナウイルスの再拡大により、7月以降、取引企業の売上が再度減少している。
雇用	◎	—	—	—

関連	○	—	—	—
(四国)	□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数は前年と横ばいで、新型コロナウイルスの影響を受ける業種とそうでない業種が分かれている。
	□	人材派遣会社 (営業)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染防止対策により、周辺企業も従来の事業展開を自粛しながら、今できることでサービスを提供している。新型コロナウイルスの対策を主とした新ビジネスへの事業者給付金や余剰社員の出向契約制の導入など、ヒト、モノ、カネの運用に努力しているところは改善傾向にある。
	□	職業安定所(求人開発)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大による影響が様々な産業に出てきており、事業所閉鎖、事業縮小等による人員整理を実施する事業所が4月以降継続していること等を総合的に考えると、変化はない。
	□	民間職業紹介機関(所長)	求人数の動き	・観光関連を中心にサービス業で引き続き採用活動が鈍化している。また、事務系の求人も減少傾向である。
	□	学校[大学] (就職担当)	採用者数の動き	・大学生、短大生の就職内定者数が8月に入っても思っていたほど伸びていない。
	▲	求人情報誌(営業)	求人数の動き	・飲食、宿泊業等のサービス業を始めとして、製造業等でも求人数が減ってきた。採用困難な一部の職種については引き続き募集継続しているが、トータルでは求人が大きく減っている。
	▲	職業安定所(職員)	それ以外	・大卒等を対象にした就職フェアは、前年度と比較して3倍弱の参加者となっている。現段階で道筋がついていない学生が多数いると考えられる。
	×	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人数が少なく労働者の契約も満了していく。